

日本看護歴史學會 會報

日本看護
歴史学会
第44号
2005年7月1日

日本看護歴史学会第19回学術集会開催にあたって 学術集会長 藤村龍子（東海大学健康科学部）

日本の風情を象徴する梅雨の時期に入っています。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。多くの人々は湿度の高い鬱陶しい時節を好まないものですが、自然の生きとし生けるものはこの恵みによって明日への活力を頂き、輝けるのだと思います。梅雨が明けると暑い夏、そして1年巡って「日本看護歴史学会学術集会」の開催時期になりました。今年度第19回より学術集会という名称へと、新たに名実ともに学術的変革を目指して変更となります。日本看護歴史学会は、常に時代の課題意識を真摯に受け止め、その解決の糸口に歴史的省察を求めて参りました。今日における看護学教育改革の推進と改善・充実への動きもその一つです。

看護学教育の大学化は、ここ10年間に於いて加速度を増しています。わが国における学士課程における看護学教育は、昭和27年に開始され、平成17年度には看護系大学の数が国公立を含めて127校、修士課程が78課程、博士課程が31課程、専門職大学院が1課程となりました。それは、我が国の高等教育制度の改革と



専門職育成の潮流の中で、社会的ニーズと看護職者の努力によって徐々に発展してきた歴史の足跡でもあります。これまで、わが国の看護教育の源流は、初期段階においては、近代化思想の基で西洋医学の影響を受けた医師の力に委ねられ発達してきました。長い間、大半の学校は学校教育法から傍流である「各種学校」という系列から出発しています。ここで言う「各種学校」は、明治5年、学制が公布されるときより学校系列からはみ出した形に位置づけられています。

このような歴史的背景から、第19回学術集会のメインテーマは「学校史を発掘する一高等教育の源流から看護学教育の歴史的省察を」としました。それぞれの学校史発掘の精神を機軸にして、管理政策を含めた制度史、地方史、個人史、創立者の思想史、学説史、学校教育法・省令の歴史的省察等、幅広い話題を通じて、高等教育の源流から看護学教育の将来を展望したいと存じます。

学術集会のオプションとして、東海大学湘南校舎に在る松前記念館をご案内いたします。松前記念館（博物館として指定）では、開催校である東海大学創始者であり、科学者・教育思想家としての松前重

義博士の業績、大学の建学の精神そして歴史観に触れていただくことができます。これは私学の建学の源流としての「知の歴史」、つまり学校史の原型をつぶさに理解できる機会にもなると思います。

さて、第19回学術集会についてですが、前述の課題意識にちなんで、メインテーマを「学校史を発掘する一高等教育の源流から看護学教育の歴史的省察を」に決定させて頂きました。会期は、8月27日（土）、28日（日）の2日間です。1日目の会場は、お知らせのように、平塚市の東海大学湘南校舎（松前記念館）です。キャンパスの富士見通りから富士の雄姿を見ることが可能です。2日目の会場は、東海大学健康科学部のある伊勢原校舎（伊勢原市）3号館を使用します。ここからは、丹沢連峰を見ることができ、何れも静かな自然の風を感じることができると思います。

特別講演は、メインテーマのプロローグとして、「日本の近代化と大学の歴史—大学の源流を探る」について、東京大学名誉教授であり、日本近代大学史・教育史の第一任者であります寺崎昌男氏にお願い致しました。寺崎博士は、東京大学史料編纂、日本における大学自治制度の成立、戦後教育改革構想、大学教育の創造、大学の自己変革とオートノミー等、多数の大学の歴史に関する著書を出版されています。私学と国立大学の両者の教育に関わり、最近では「競争でなく、国公立大学連携へ」という新しい提言を行っています。

シンポジウム「学校史を発掘する」では、日本における看護学教育の源流に触れて頂き、歴史的視座から明日の教育機関の使命を確認したいと思います。4名のシンポジストと演題は、依田和美氏から「京都看護婦学校で開始された看護教育の概要」を、芳賀佐和子氏から、「慈恵看護教育120年の歩み—過去から未来への思索」を、川嶋みどり氏から「東京看護教育模範学院の戦後の看護教育への影響と役割」を、松本女里氏から「日本で最初に発足した四年制大学での看護教育—高知女子大学看護学部の経緯」について発言して頂きます。

交流セッションでは、4つの話題を提供者とともに進行する予定です。「男性看護者の組織化の歴史」は3年連続で、話題提供者は剣持功氏です。「看護教育機関の源流—卒業校を発掘する」の話題提供者は、辻幸代氏と細越幸子氏です。「世界の紛争・戦争と看護活動」の話題提供者は額賀せつ子氏です。「ナイチンゲールにとっての看護学校とは」の話題提供者は、小玉香津子氏と高田みつ子氏です。「ナイチンゲール看護学校のゆかりの地」写真展とともにセッションをもちます。

演題発表は、口演10題、示説8題が準備されています。この日、皆様とともに看護の歴史について熱く語る時間を過ごしたいと思います。

日本看護歴史学会会報第44号には、①日本看護歴史学会第19回学術集会のお知らせ（2、3面）、②第7期理事・監事選挙結果報告（4面）、③会費（6,000円）納入のお知らせ（4面）が掲載されています。

日本看護歴史学会第19回学術集会のお知らせ

日本看護歴史学会は、第19回から学術集会となり、より学術的な学会として発展しようとしております。また、社会からは看護学教育に多大な関心が寄せられる時代となってきました。奇しくも、第19回学術集会は看護学教育の歴史を省察することをテーマに掲げております。会員の皆さま、そして看護学教育の歴史に関心をお持ちいただいている皆さまに、是非お運びいただき、学術集会を盛り立てて下さいますよう、お願いいたします。

メインテーマ

学校史を発掘する—高等教育の源流から看護学教育の歴史的省察を

会期

2005年8月27日(土) 11:00~16:30
8月28日(日) 9:00~16:30

会場

27日 東海大学湘南校舎 松前記念館
28日 東海大学伊勢原校舎 3号館2階

参加申込受付中

参加費:	事前申し込み	(当日)
会 員	5,000円	6,000円
非 会 員	6,000円	7,000円
学 生	2,000円	2,000円
懇親会費:	3,000円	

※事前申込期限 2005年8月19日

※振込みをもって、お申込とさせていただきます。

振込先 郵便局00230-8-113050

加入者名 日本看護歴史学会第19回学術集会

1日目：プログラム

8月27日

11:00 松前記念館・キャンパス見学
12:00 受付
13:00 開会挨拶
13:20 特別講演
15:00 シンポジウム
17:00 懇親会(於・松前記念会館)

オプション

(27日のみ) 松前記念館・キャンパス見学

※東海大学創立者の松前重義博士の業績や建学の精神、東海大学の歴史をご紹介します。

特別講演

日本の近代化と大学の歴史—大学の源流を探る

講師：寺崎昌男

(立教大学総長室調査役・東京大学名誉教授)

司会：菅原スミ(昭和大学保健医療学部教授)

シンポジウム

学校史を発掘する

座長：岡崎寿美子(北里大学看護学部教授)

シンポジスト

依田和美

(元大阪府立看護大学医療技術短期大学部)

京都看病婦学校で開始された看護教育の概要
芳賀佐和子(東京慈恵会医科大学教授)

慈恵看護教育120年の歩み—過去から未来への思索

川嶋みどり(日本赤十字看護大学教授)

東京看護教育模範学院の戦後の看護教育への影響と役割

松本女里(高知女子大学名誉教授)

日本で最初に発足した四年制大学での看護教育—高知女子大学看護学部の経緯

2日目：プログラム

8月28日

9:00 受付
9:30 交流セッション
12:00 総会
13:30 一般演題(口演・示説)
会場は、口演2カ所、示説1カ所に分けて行います。
16:30 次期学術集会長挨拶、閉会

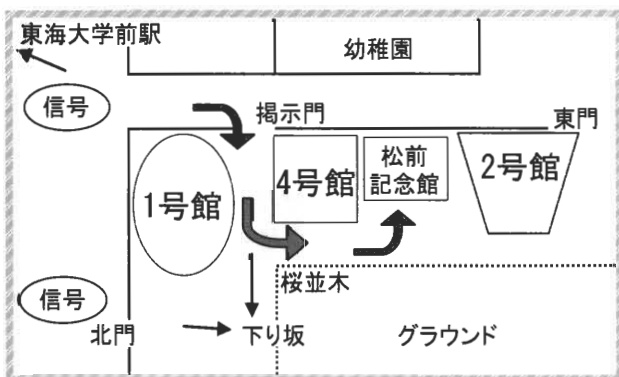
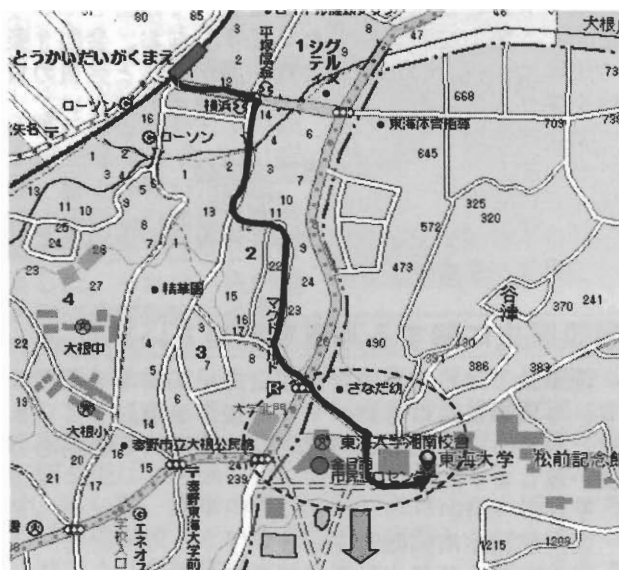
交流セッション

- ① 男性看護者の組織化の歴史
話題提供：剣持 功(東海大学医学部付属病院)
 - ② 看護教育機関の源流—卒業校を発掘する
話題提供：辻 幸代(和歌山県立医科大学)
細越 幸子(岩手県立大学)
 - ③ 世界の紛争・戦争と看護活動—これからの看護学教育に向けて
話題提供：額賀せつ子
 - ④ ナイチンゲールにとっての看護学校とは
話題提供：小玉香津子(聖母大学)
高田みつ子(元杏林大学)
- ※写真展も同時に開催いたします。

湘南キャンパスへの交通

- 1) 小田急線鶴巻温泉駅からバス約5分
 - ・シャトル便を運行します。
10:40、11:10
 - ・【鶴12】東海大学行き 東海大学正門前下車
10:36、11:20、12:06、12:48、13:10、
13:57、14:36・・・
- 2) 小田急線東海大学前駅から徒歩約15分
(途中に急な階段があります)
- 3) JR平塚駅からバス約20分
 - ・【平73、77】東海大学行き 東海大学下車
10:35、10:58、11:26、12:00、12:25、
13:02、13:37・・・
 - ・【平71、74】秦野駅行き東海大学正門前下車

10時	11	24	34	47	58
11時	10	26	35	50	58
12時	12	22	37	46	55
13時	11	25	35	46	58

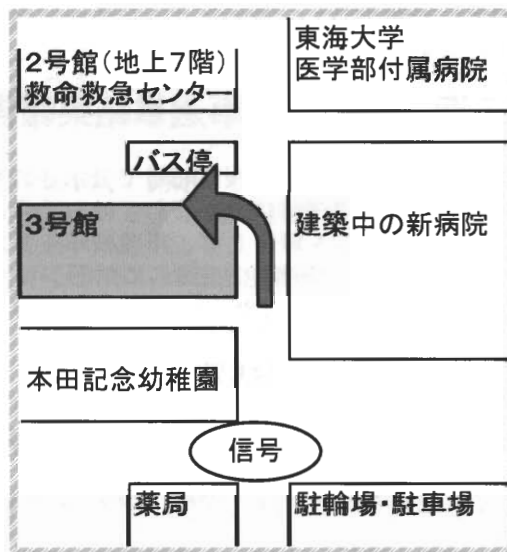


伊勢原キャンパスへの交通

- 1) 小田急線伊勢原駅から徒歩約15分
- 2) 小田急線伊勢原駅北口からバス約8分
 - ・【伊74】愛甲石田駅行き 東海大学病院下車
8:30、9:10、9:50・・・
- 3) 小田急線伊勢原駅南口からバス約10分
 - ・【伊06】東海大学病院行き 終点下車
8:25、8:55、9:25、9:55・・・



構内拡大図↓



お問い合わせ

日本看護歴史学会第19回学術集会事務局
〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143
東海大学健康科学部

Tel 0463-90-2062 Fax 0463-90-2079
E-mail taikai-19@mars.ihs.u-tokai.ac.jp
第19回学術集会のホームページ
<http://rekishi-19.ihs.u-tokai.ac.jp/>

日本看護歴史学会学術集會事務局リレーその2 大会事務局を終えての所感

第18回実行委員長 城戸滋里 (北里大学看護学部)

前年度の青森県立保健大学から引き継ぎ、神奈川県相模原の地で第18回大会を開催させていただきました。看護の歴史を承継する学会の事務局を勤めさせていただくと知った時には、この栄えある大会を恙なく開催できるのだろうかかと心配いたしました。しかし、青森の地で第17回大会事務局の皆様にお励みされ、大会資料も快くお譲り下さったことが大変ありがたく、また励みにもなりました。この場をお借りして深くお礼を申し上げます。

その後、企画委員会、実行委員会を重ねるに従い、看護の歴史を支えてきた方達の功績に触れ、看護の原点を感じることができました。とはいえ、日程が進むにつれ、当日はどの位の方達にご参加下さるのか、懇親会参加者数が予測を下回らないか、講演される先生方は無事ご到着されるのだろうかなどと気を揉むことが多くなり、挙げ句の果てには天候までが心配の種になる日々でした。しかし、大会長をはじめとする企画委員の先生方、学会事務局の先生方の落ち着いた対応に後押しされながら、何とか初日を迎えることができました。当日は、参加者の方達が受付に並ぶ様子に胸をなで下ろし、パネルディスカッションや交流セッションで沸き起こる笑い声や拍手に心洗われる気持ちになったことを思い出します。第19回大会を開催されます東海大学の皆様は、大変お忙しく過ごされている時期と思われるかもしれませんが、学会が更に発展すべく、盛況な大会が実現できますことを、心よりお祈りいたしております。

第7期 理事・監事選挙結果報告

平成16年11月1日付の会報第43号で公示された日本看護歴史学会理事選挙につきましては、公示から3カ月間の投票期間を経まして、平成17年1月29日に開票しました。有権者総数226名に対し、投票総数98票、投票率43.4%でした。選挙結果を理事会に報告しました。

投票結果

◆理事

高橋みや子、川島みどり、田中幸子、平尾真智子、大石杉乃、草刈淳子、岡山寧子、氏家幸子、依田和美、岡崎寿美子 以上の方が上位10名でした。

◆監事

藤村龍子、山本捷子 以上の方が上位2名でした。

第19回の総会で理事・監事が承認されます。

選挙管理委員会 岸本多恵子 城丸瑞恵
芳賀佐和子

編集後記

仕事をしながら会報発行作業をするのは大変である。しかし発行できたときの喜びは大きい。会員の皆様の声をもっと載せたいといつも思う。(す)

新入会員紹介

() は会員番号

中村 渥子 (04-031)	佐藤 幹代 (05-003)
鈴木 紀子 (04-032)	〔東海大学看護学科〕
堀河 美和 (04-033)	高橋奈津子 (05-004)
加瀬田暢子 (04-034)	〔東海大学健康学科〕
喜多加奈子 (04-035)	大串 靖子 (05-005)
〔東京慈恵会医科大学看護学科〕	〔青森県立保健大学〕
鍋島まゆみ (04-036)	村上 京子 (05-006)
吉堀由加里 (04-037)	豊島よし江 (05-007)
柴田 京子 (04-038)	三上 れつ (05-008)
津田 右子 (04-039)	〔慶応義塾大学保健医療学部〕
牧田 初枝 (05-001)	番場 妙子 (05-009)
川原由佳里 (05-002)	
〔日本赤十字看護大学〕	

会費納入のお願い

ご注意ください

年会費は6000円です

昨年度総会で、年会費値上げが了承されました。本学会は、皆さまからの会費収入で運営しております。ご協力をお願いいたします。なお、会則9条の規程により、3年間、会費を滞納すると会員の資格を失うこととなりますので、ご留意ください。

学会事務局

加入者名 日本看護歴史学会

口座番号 01010-1-52185

※日本看護歴史学会第19回学術集會の振込先とは異なります。

看護歴史に関する写真を集めています

理事会では日本看護歴史学会発足20周年を記念して、写真集または写真パネルの製作を検討しています。お貸しいただける方は下記の住所にご連絡をお願い致します。

〒182-8570

東京都調布市国領町8-3-1

東京慈恵会医科大学医学部看護学科

大石杉乃 e-mail kiso2@jikei.ac.jp

Tel 03-3480-1151 (代表)

日本看護歴史学会会報 第44号

企画・編集 藤村龍子 (東海大学健康科学部)

大石杉乃 (東京慈恵会医科大学)

発行責任者 田中幸子 (北里大学看護学部)

事務局 〒228-0829

神奈川県相模原市北里2-1-1

北里大学看護学部 田中幸子

Tel&Fax 042-778-9826

e-mail nhistory-gakkai@umin.ac.jp